

- ◆企画名 peer 憩いの場 “はねやすめ”  
 日程 2016年11月3日(木)～11月6日(日)  
 場所 総合学生会館凜風館1階 ピアエリア、グローバルエリア、ライティングエリア  
 参加者数 15名(ピア・サポーター10名、研修生5名)  
 目的

ピア・コミュニティの大きな課題として、団体の知名度がまだまだ低いという点が挙げられる。そこで、学園祭という大勢の人々が関西大学に集う機会を利用し、ピア・コミュニティについて気軽に知ってもらえる場を設けることで、団体への興味関心を喚起し、「おもしろさ」を感じてもらえるようにする。また、ゆっくり座って休憩したり買ったものを飲食したり、学園祭をより楽しむためにもちよっと一息つける場所にもしたい。

#### 内 容

- ・ピアエリアの備品だけではなく、コラボレーションコモンズの備品をお借りして、凜風館1階のピアエリア、グローバルエリア、ライティングエリアに飲食可能で座って休憩できるスペースを設けた。
- ・各コミュニティから企画時の活動風景を撮影した写真や、企画広報時に作成したポスターを提供してもらい、ホワイトボードなどを利用して掲示した。
- ・企画場所には常時サポーター・研修生を配置し、ピア・コミュニティに関する質問や学生生活に関する質問を受け付けることができるようにした。

#### 効 果

- ・普段はピア・コミュニティという団体がどのような活動をしているのかを知ってもらう機会はあまりないが、学生だけでなく一般の学外の人々も掲示物を見てくれている姿を見かけることが結構あったため、ピア・コミュニティの広報に効果があった。
- ・午前午後ともに休憩に来る人や飲食しに来る人は常時おり、休憩所が少ない学園祭の場では需要を満たすことができた。

#### 改 善 点

- 準備時
- ・各コミュニティへの掲示物提供依頼が上手く伝わらず、締め切りを延期した。
  - ・A4サイズは座って休憩しながら閲覧するには見えづらいことに学園祭前日に気がつき、当日の朝までポスター作成に時間をかけてしまった。
  - ・企画実施までの全体的な流れの管理、把握ができていなかった。
- 実施、片付け時
- ・各コミュニティの写真や企画ポスターは企画ごとに掲示したが、今ひとつどのような活動なのかよく分からなかった。
  - ・ピアエリアの柱の周りにオレンジの丸椅子を配置したが、机の高さに合っておらず、結局元の椅子を持ってくることとなった。
  - ・休憩所の配置に関して、知らない人と向かい合わせになることで周りの目を気にする人がいたように思えた。
  - ・学園祭終了後の原状復帰が大変だった。

#### 感 想

他コミュニティのメンバーとピア・コミュニティという団体の一員として活動を行ったのは良い経験になったと感じる。これからも、学園祭という大勢の人々が集まる機会を利用して、さらに多くの人々にピア・コミュニティについて知ってもらえるような企画を参加者全員で協力しながら行っていきたい。